



営農NEWS



突然の降雹や突風等被害への対応について

例年、5月頃には天候の不安定となる日があって、突発的に降雹や暴風雨害などが発生することがあります。この影響で、果樹、普通作、施設や露地野菜に被害が発生した場合は、必要な対応を行ってください。軽度の場合も、生育への影響、病害の発生などが懸念されますので、適切な対策に努めてください。

なお、[県農業総合センターホームページ](#)に、[気象災害の技術対策](#)が掲載されていますので、参考にしてください。

1 露地赤ナシ、ブドウ（巨峰）、リンゴなど

樹体損傷の程度に応じて、修復や被害果の摘除、損傷部への塗布剤による保護などを行い、生育の回復に努めます。また、枝葉の損傷部より病気が発生しやすいので、赤ナシや巨峰ブドウ、リンゴなど各果樹の病害虫参考防除例に基づき、確実に薬剤防除を実施します。さらに、年次により突発的に発生するナシ疫病（防除薬剤：アリエッティ水和剤など）にも注意が必要です。なお、摘果作業は、果実の被害を一週間程度後に確認し、必要に応じて行ってください。

2 水稻、麦

冠水した圃場の、速やかな排水に努めます。水稻は、葉先が少しでも水面に出ていれば、被害が軽くなり、通常では3～4日程度の冠水であれば、分けつが遅れるものの、概ね生育が回復します。なお、除草剤を散布する場合は、活着を確認してから行います。麦では、圃場排水後、赤かび病など病害防除を実施します。

3 施設野菜

ビニールの破損等で、ハウス中の作物に被害が生じてても、栽培継続が可能と思われる場合は、破損部を修復し、必要に応じて、病害虫の発生を抑制するための薬剤散布を行い、さらに葉面散布剤や追肥による生育の回復を図ってください。

4 露地野菜

作物の病害対策として、使用薬剤の**収穫前日数および総使用回数に十分注意**して、防除に努めてください。

作物名	主な防除薬剤 (平成31年4月24日現在)
キャベツ	黒腐病・軟腐病 … カセット水和剤 1,000 倍 (7日前まで/3回以内) [24 と 31] またはバリダシン液剤 5 800 倍 (7日前まで/5回以内) [U18] 菌核病 … トップジンM水和剤 1,000~1,500 倍 (3日前まで/2回以内) [1] またはファンタジスタ顆粒水和剤 2,000~3,000 倍 (3日前まで/3回以内) [11]
ハクサイ	黒斑細菌病・軟腐病 … バリダシン液剤 5 500 倍 (3日前まで/3回以内) [U18] またはスターナ水和剤 1,000 倍 (7日前まで/3回以内) [31]
ネギ	軟腐病 … スターナ水和剤 2,000 倍 (7日前まで/3回以内) [31] またはカスミンボルドー 1,000 倍 (14日前まで/2回以内) [24 と M1] またはバリダシン液剤 5 500 倍 (21日前まで/1回) [U18]
レタスおよび非結球レタス	すそ枯病・軟腐病 … バリダシン液剤 5 800 倍 (7日前まで/3回以内) [U18] 菌核病・すそ枯病 … アフェットフロアブル 2,000 倍 (前日まで/3回以内) [7]
バレイショ	疫病 … プロポーズ顆粒水和剤 750~1,000 倍 (7日前まで/5回以内) [40 と M5] またはゾーベックエニケード 5,000 倍 (7日前まで/2回以内) [49] 軟腐病 … Zボルドー 500 倍 (—/—) [M1] またはマテリーナ水和剤 1,000 倍 (7日前まで/3回以内) [25 と 31]
加工トマト	疫病 … ランマンフロアブル 1,000~2,000 倍 (前日まで/4回以内) [21] 斑点細菌病 … カスミンボルドー 1,000 倍 (前日まで/5回以内) [24 と M1]
ニラ	さび病・白斑葉枯病 … ストロビーフロアブル 3,000 倍 (前日まで/3回以内) [11] またはアフェットフロアブル 2,000 倍 (7日前まで/1回以内) [7]
野菜類 (ナス、ダイコン、ラッキョウ、未成熟ソラマメ、サヤインゲンなど)	軟腐病など … Zボルドー 500 倍 (—/—) [M1]

注) 表中[]内にはFRACコードを記載しました (コードが2つは2成分)

◎生育回復の対策 (葉面散布剤の使用法)

<葉菜類や根菜類>

- 1) メリット青 300~500 倍 + グリーンセーフ S 1,000 倍を、3~5日おきに2回程度の葉面散布を行います。 または
- 2) ファイトオーツー 1,000 倍 + ファイトマジック 1,000 倍を、5~7日おきに2~3回の葉面散布を行います。

<果菜類>

- 1) メリット青またはメリット黄 300~500 倍 + グリーンセーフ S 1,000 倍を、3~5日おきに2回程度の葉面散布を行います。

※ 青・黄は生育に応じて使い分けてください。

農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。

※ JA全農いばらきホームページでもご覧になれます。



JA全農いばらき

生産資材部 営農企画課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040